

## 松木日向緑地プログラム 竹林整備

連携団体

ひなた緑地遊学会

2021年10月3日（日）

### 報告

#### 2回目の活動は「孟宗竹」を切る！

台風一過の10月3日（日）、2021年度2回目の地域ボランティアプログラム「日向緑地ボランティアプログラム」が始まりました。

本プログラムは、都立大・南大沢キャンパス内にある松木日向緑地をフィールドとして、里山の荒廃による生態系への影響（環境的課題）・自然利用の技術・文化の伝承の断絶（文化的課題）・本学が有する豊かな資源に対する認知度の低さ（本学の課題）の社会課題の解決に向け、里山保全・多世代交流活動に取り組んでいます。

今回は、参加学生12名で、連携団体である「ひなた緑地遊学会」の方々とともに、松木日向緑地の東側エリアで、「孟宗竹（モウソウチク）」の間伐を実施しました。

この場所は、毎年「たけのこ掘り」をする場所で、「孟宗竹（モウソウチク）」は、前回伐採した「真竹」よりも二回り以上太く、伐採するのが大変です。今回も複数名でグループを組んで「孟宗竹」を切っていきます。

集まった参加者は、今回も引き続き、消毒やマスクの着用など感染対策を徹底し、準備運動を行った上で活動を行いました。

#### 竹林整備のポイントと作業の様子

「孟宗竹」の竹林整備について、ひなた緑地遊学会の北出さんより、改めて教えていただきました。

①竹が密集しているところを間引くこと（10mくらいの間隔で竹が生えていることが望ましい）

②倒れる方向を見定めて切ること（竹の先端がどの方向を向いているか確認すること）

③竹を切ったら、3mほどに長さを整え、積み重ねること

1チームで6本の間伐を目標に、活動を開始します。



▲ 遊学会の方に竹の切り方を教わる



▲ 間伐した竹の枝葉落としの様子



#### 今回の活動場所



首都大学東京・東京都立大学 ひなたブック製作委員会『ひなたブック』, 2007より

竹が密生しているエリアでは、1本伐採したとしても他の竹や樹木の枝に絡まってなかなか倒れないので、複数人で竹を抑えたり、動かしたりしなければならず、とても体力を使います。

竹林整備の活動に初めて参加した学生もいましたが、互いに教え合い、サポートし合いながら、伐採作業に取り組んでいました。

今後も少しずつ竹の伐採に慣れていきつつ、活動の質を高めて竹林整備を行っていきます。

#### 参加学生の声

- 竹が太いので難易度が高そうに感じたが、コツを掴んだ後はスムーズに楽しめた
- 太い竹を何本も間伐したことで「竹を切った！」という充実感があった
- メンバー同士で声を掛け合い、コミュニケーションをとりながら作業できたのがよかった

#### 遊学会の方からのアドバイス

- 鋸は引くときに切れるので、回数を少なく思い切り引くとよい。手は30cm以上離そう。
- 初めての鋸は先端が下がりやすいので平行に使おう。足場のバランスにも留意しよう。



都立大ボラセン  
YouTubeチャンネル

当日の様子を公開中!

